

[066_04] 経済学研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4362393>

出版情報：経済学研究. 66 (4), 1999-12-31. 九州大学経済学会
バージョン：
権利関係：

徳永正二郎 教授 略歴

1940年2月5日生まれ

学 歴

1958年3月 山口県立小野田高等学校卒業
1959年4月 山口大学経済学部入学
1965年3月 同 卒業
同 年4月 九州大学大学院修士課程（経済学専攻）入学
1967年3月 同 修士課程修了
同 年4月 同 博士課程進学
1970年3月 同 博士課程単位取得退学
1979年10月 経済学博士

職 歴

1970年4月 西南学院大学商学部講師
1972年4月 同 助教授
1976年4月 九州大学経済学部助教授
1984年9月 同 教授

学会活動（会員）

国際経済学会（常任理事）、金融学会、経済理論学会、九州経済学会、Association of East Asian Economy

徳永正二郎 教授 著書・論文目録

I - A 著書 (単著, 共著, 編著)

- (1) 『為替と信用－国際決済制度の史的展開』単著, 新評論, 1976, 318ページ
- (2) 『南北問題を見る眼』共著, (遊仲勲, 本山美彦), 有斐閣 (有斐閣新書), 1980, 240ページ
- (3) 『現代外国為替論』単著, 有斐閣 (有斐閣現代叢書6), 1982年, viii+387ページ
- (4) 『世界経済と外国貿易』共編著 (木下悦二), 新評論, 1985年 289ページ
- (5) 『現代の貿易取引と金融－貿易金融イノベーションの時代』共著 (井上徳男, 神沢正典, 井上伊知郎), 有斐閣, 1988年, 264ページ
- (6) 『アジア経済の発展と日本の対応』共編著 (宮川謙三), 九州大学出版会, 1988年, 255ページ
- (8) 『アジア太平洋の経済の成長と変動』共編著 (伊東弘文), 九州大学出版会, 1992, 239ページ
- (9) *Japan's Foreign Investment and Asian Economic Interdependence : Production, trade, and financial system* (editor), University of Tokyo Press, 1992, 264pp.
- (10) 『多国籍企業のアジア投資と円の国際化－日韓企業の海外事業活動と貿易決済の変容に関する実態調査』, 編著, 税務経理協会, 1996, 171ページ

I - B 報告書 (編著)

- (11) *Japan's Investment and Changing Structures in Thailand and Malaysian Economies*, Editor, Kyushu University (Faculty of Economics), 1990, 296pp.
- (12) *Development of ASEAN Economies and Japan's Role* Kyushu University (Faculty of Economics), 1991, Co-editor (with Kenzo Miyagawa), 227pp.
- (13) *Which Direction is the Asia-Pacific Moving Towards : Intra-Pacific economic competitiveness and cooperation*, Editor, Kyushu University, 1993, 531pp.
- (14) *Asia-Pacific Regional Development and US-Japan Economic Relations* (International Symposium on the Auspicious Occasion of 24th Anniversary of the Faculty of Economics, Chulalongkorn University), Co-editor, Chulalongkorn University (Faculty of Economics), Thailand
- (15) *Asian Economic Dynamism and New Asia-Pacific Economic Order: Post-cold war U.S.- Japan economic relations and new regionalism*, Editor, Kyushu University, 1994, 332pp.

II 論文 (紀要・雑誌) および分担執筆 (単行本)

- (1) 「スミス『余剰捌け口』説の一検討－『外国貿易の必然性』について」『西南学院大学商学論集』, 1969, 第16巻第3号
- (2) 「船荷証券と貿易金融－*cif terms*の生成と関連して」『西南学院大学商学論集』, 1970, 第17巻第2号
- (3) 「資本主義の外延的発展と世界市場」『西南学院大学商学論集』, 1970, 第17巻第3号

- (4) 「商業信用と外国為替－為替取引の本質と17－18世紀貿易決済制度」『西南学院大学商学論集』, 1971, 第17巻第4号
- (5) 「世界市場の創設と貿易決済－貿易決済制度の歴史的変遷に関する覚書」『西南学院大学商学論集』, 1971, 第18巻第1号
- (6) 「『外国貿易必然性』論への反省(1)」, 「『外国貿易必然性』論への反省(2)」『世界経済評論』, 1972, 第16巻第1号及び第2号
- (7) 「委託荷見返前貸制度と Factors Acts -19世紀英国貿易決済制度の検討(1)」『西南学院大学商学論集』, 1973, 第20巻第1号
- (8) 「委託荷見返前貸制度と Factors Acts -19世紀英国貿易決済制度の検討(2)」『西南学院大学商学論集』, 1973, 第20巻第3号
- (9) 「為替手形と大市振替決済－外国為替の歴史と信用代位説」『西南学院大学商学論集』, 1974, 第21巻第1号
- (10) 「マーチャント・バンカーと荷為替信用制度－cif 売買(貿易慣習)の生成と関連して」『西南学院大学商学論集』, 1974, 第21巻第3号
- (11) 「外国為替取引とは何か－為替信用代説批判によせて」『西南学院大学商学論集』, 1975, 第21巻第4号
- (12) 「外国為替取引と信用－近代的為替銀行の機能とその形成論理」『西南学院大学商学論集』, 1975, 第22巻第2号
- (13) 「国際的信用制度と世界市場恐慌(1)」『経済学研究』(九州大学), 1977, 第43巻第3号
- (14) 「宇野『恐慌論』とヴィクセル－国際的信用制度と世界市場恐慌(2)」『経済学研究』(九州大学), 1978, 第43巻第6号
- (15) 「国際的信用制度と生産の国際的關係－世界市場概念と関連して」『経済学研究』(九州大学), 1978, 第44巻第1号
- (16) 「資本輸出と世界市場の構造変化」『経済学研究』(九州大学), 1978, 第44巻第2・3合併号
- (17) 「『大不況』と世界市場－第一次大戦前の世界市場構造の分析」『経済学研究』(九州大学), 1979, 第44巻第6号
- (18) 「変動相場制と国際収支調整メカニズム－ドル体制の再編成と国際通貨・金融制度」, 『世界経済評論』, 1979, 12月号
- (19) 「資本輸出と貿易」森田桐郎・本山美彦編『世界経済論を学ぶ』, 有斐閣, 1980
- (20) 「世界市場恐慌と国際信用制度」『国際経済』, 1979, 第30号
- (21) 「国際貿易と国際金融」久保真一・中川信義編『国際貿易論－世界市場の構造と動態』, 有斐閣, 1981
- (22) 「ドルと国際金融市場－70年代における米国金融市場の変化と関連して」『経済学研究』(九州大学), 1981, 第46巻第1・2合併号
- (23) 「国民経済間の不均等発展と変動相場」『経済学研究』(九州大学), 1981, 第46巻第4・5合併号

併号

- (24) 「過剰貨幣資本とユーロ市場－過剰国際流動性に関する一考察」『経済研究』（一橋大学），岩波書店，1981
- (25) 「世界市場恐慌と国際信用制度－『世界市場論』の課題と関連して」『国際経済』，1981
- (26) 「ロンドン・バランスと取引通貨－国際通貨としての英ポンド」『経済学研究』（九州大学），1982，第47巻第2・3合併号
- (27) 「金融における国際化と対応」『国際化と地域経済（昭和57年九州経済白書）』，1983
- (28) 「国際通貨危機と変動相場制」木下悦二編『現代の世界経済（新版）』，有斐閣，1983
- (29) 「現在の国際金融事情と南北経済」『月刊アジア・アフリカ研究』，1984
- (30) 「多国籍企業と現代の錬金術－グローバル生産を巡るモノとマネー」『エコノミスト』，1984，3月10日号
- (31) 「為替相場－世界貨幣・国際信用システム・資本輸出」『国家・国際商業・世界市場』（『資本論体系』第8巻）有斐閣，1985
- (32) 「CIF 売買の起源について－一定型貿易慣習の生成に果たした貿易金融の役割」『経済学研究』（九州大学）1986
- (33) 「金融の証券化と資本の自由化－過剰流動性の世界と金融市場の変質」『信用理論研究』，1987年，第4号
- (34) 「経済のサービス化と富の生産－『成長の経済』と『沈滞の経済』の背後にあるもの」『経済学研究』（九州大学），1987
- (35) 「金融の証券化と資本の自由化－過剰流動性問題と規制解除金融システム」『経済学研究』（九州大学），1987，第52巻第1－4合併号
- (36) 「金融資本の自由化と日米経済関係」佐藤定幸編『日米経済摩擦の構図』，有斐閣，1987
- (37) 「マネタリー・アプローチと国際流動性問題－戦後期国際収支調整論の性格」鈴木重靖編『現代貿易理論の解明』，大月書店，1987
- (38) 「技術確信と『投下労働価値説』－価値と生産力のパラドックス」『経済学研究』（九州大学），1988，第53巻第4・5合併号
- (39) 「棲み分け社会と利潤形成－『関係』概念としての価値・利潤」『経済学研究』（九州大学），1988，第53巻第6号
- (40) 「現代的貿易決済システムと国際通貨」『商学論叢』（福岡大学），1988，第33巻第1号
- (41) 「ワルラス世界と価値概念－私的所有と棲み分け社会」『経済学研究』（九州大学），1988，第54巻第1・2合併号
- (42) 「アジアの工業化と九州経済の空洞化－国際的産業再編成と地域経済」『リポート』（山陽放送学術文化財団），1988，32号
- (43) 「日本の直接投資とアジアの産業的・金融的連関－ASEAN 向投資の特性と関連して」『経済学研究』（九州大学），1988，第54巻第4・5合併号

- (44) 「実質的経営支配と投資の新形態」(上), (下)『世界経済評論』, 1989, 2月号及び3月号
- (45) 「国際通貨・ドル本位制・変動相場制—為替論争の理論的・現代的課題とは何か」『経済学研究』(九州大学), 1989, 第54巻第6号
- (46) 「外国為替制度と国際通貨システム」(展望論文)『金融学会報告』, 1989, 68号
- (47) 「日本の直接投資とタイの工業化—日本の直接投資がタイ国経済・金融市場に与えるインパクト(1)」『経済学研究』(九州大学), 1989, 第55巻第1・2合併号
- (48) 「タイの投資・輸出奨励策と企業内貿易—日本の直接投資がタイ国経済・金融市場に与えるインパクト(2)」『経済学研究』(九州大学), 1989, 第55巻第3号
- (49) “Thai-Japanese Economic Relations and Evolution of the Thai Financial Markets: A tentative analysis of interdependence between national interests and regionalism,” *Research Report* (Kyushu University, Faculty of Economics), 1990
- (50) 「ASEAN 金融市場の課題と日本の役割」(「特集: 太平洋新世紀の開幕—アジアの金融市場は今」)『金融ジャーナル』, 1990, 2月号
- (51) “Economic Asianization and the the Economies of ASEAN : The position of ASEAN and Kyushu in the new Asian trading system,” 『経済学研究』(九州大学), 1990, 第55巻第6号
- (52) 「日本企業がもくろむ東南アジア物流革命—ボーダーレス経済が生むネットワーク」『エコノミスト』, 1990, 2月23日号
- (53) 「日本企業の対 ASEAN『マネーなき』直接投資—現地金融市場の発達を促す効果も」『エコノミスト』, 1990, 12月25日号
- (54) 「アジア経済圏の形成と九州—ボーダーレス経済と九州の新しい役割」『九州のなかの世界』(九州大学公開講座23), 1991
- (55) “Japan’s FDI and Transformation of Asian Trading and Financial Systems,” in K. Miyagawa (ed.), *Japan’s Investment and Changing Structures in Thailand and Malaysian Economies: Comparative Investigation of Asian Economy*, Kyushu University (Faculty of Economics), 1991
- (56) “Japan’s FDI-promoting systems and intra-Asia networks: new investment and trade systems created by the borderless economy”, 『経済学研究 (九州大学)』, 1992, 第56巻5・6合併号
- (57) “Moneyless Foreign Investment and Development of Asian Financial Markets: Financial linkages between local markets and offshore centers,” 『経済学研究 (九州大学)』, 1992, 第57巻1号
- (58) 「変動相場制と金融のグローバルライゼーション—ドル体制下におけるナショナル・インタレストと『最適経済圏』—」(1991年度全国大会共通論題論稿)『国際経済』第42号, 1992
- (59) 「ドルと90年代の国際金融問題」木下悦二・田中素香編『ポスト冷戦の世界経済』文真堂, 1992
- (60) 「アジア経済ダイナミズムと ASEAN 自由貿易圏—転機に立つ輸出指向型経済」『ジェトロセンサ—』1992, 9月号
- (61) 「アジアのドル・リンク神話が崩れるとき—実質的に進む金融市場のアジア化」(「特集 '94新たなビジョン構築の年」)『エコノミスト』1994, 1月11日号

- (62) 「日本多国籍企業海外事業活動と貿易決済に関する実態調査－機械関連製造企業の海外投資とアジア金融市場の変容」(上)『貿易と関税』1994, 3月号
- (63) 「日本多国籍企業海外事業活動と貿易決済に関する実態調査－機械関連製造企業の海外投資とアジア金融市場の変容」(下)『貿易と関税』1994, 4月号
- (64) 「国際経済協力と九州－『九州地域における ODA 参加シーズに関する調査』と課題」『KIAC TODAY』1994, 9号
- (65) 「韓国対外進出企業の資金調達と貿易決済方法に関する実態調査－対外決済及び貿易決済に及ぼすドルの影響」(上)『貿易と関税』1994, 11月号
- (66) 「韓国対外進出企業の資金調達と貿易決済方法に関する実態調査－対外決済及び貿易決済に及ぼすドルの影響」(下)『貿易と関税』1994, 12月号
- (67) 「ドル体制とアジア地域経済－アジア太平洋に働く経済力学とアジアの時代」ヨーゼフ・クライナー, 清成忠男, 矢田俊文編『東アジア経済圏における九州・沖縄』(『地域科学叢書 XI』)ひるぎ社, 1995
- (68) 「アジア経済の発展と周辺革命－資本主義世界システムとアジアの成長(1)」『経済学研究』(九州大学), 1996, 第62巻第1-6合併号
- (69) 「銀行信用の構図－国際通貨システムの歴史と論理(I)－」『経済学研究』(九州大学), 1999, 第66巻第1号
- (70) 「為替の起源と初期預金銀行－国際通貨システムの歴史と論理(II)－」『経済学研究』(九州大学), 1999, 第66巻第3号

Ⅲ フィールドワーク(共同調査研究)等

1 国際共同研究(代表分のみ)

- (1) 日本証券奨学財団(国際共同研究)(1988-89)
 - 「企業内国際資金フローメカニズムの今日的形態と現地金融・証券市場の位置－タイ進出日系企業をケーススタディに」(代表), [タイの研究者2名と計3名で]
 - Current Forms of International Intra-Company Financial Flow Mechanism and Stance of Local Financial Markets: A case study of Japanese firms in Thailand*
- (2) 学術振興野村基金(国際共同研究)(1989)
 - 「日本企業のアセアン投融資の今日的形態と技術移転問題: シンガポール・タイ・マレーシアの実態調査と比較分析」(代表) [マレーシア, タイ, シンガポールの研究者を含む計4名]
 - Report:
 - Current Forms of Japan's FDI in ASEAN Countries and Issues of Technology Transfer: Research on Japanese firms' activities in Singapore, Malaysia, and Thailand, 1990, 109 pages*
- (3) 文部省国際学術研究(1989-90)
 - 「日本の対外投融資とタイ・マレーシア産業金融構造－アジア経済圏の比較実証研究」(代

表) [タイ, マレーシア, 中国等海外研究者 7 名を含む12名]

Report:

Japan's Investment and Changing Structures in Thailand and Malaysian Economies: Comparative Investigation of Asian Economy, Kyushu University (Report), 1991, 296pp.

(4) 文部省国際学術研究 (1991-92)

「環太平洋サービス経済システムの変革：ボーダーレス技術・金融・物流構造の実態分析」(代表), [米国, タイ, マレーシア, シンガポール, 香港等 7 名の海外研究者を含む13名]

Report:

Which Direction is the Asia-Pacific Moving Towards: Intra-Pacific economic competitiveness and cooperation, Kyushu University, 1992, 414pp. (九州大学国際シンポジウム報告書)

(5) 外務省開発援助研究委託 (国際開発高等研究機構) (1993)

『アジア工業化の支援方式と国際公共財としての援助：冷戦後の援助協力のあり方』(代表), [米国, ロシア, インドネシアを含む 4 名]

Report:

Supporting Methods to Asian Industrialization and Aid as "International Public Goods" (Collected Papers of S. Tokunaga, Thee Kian Wie and Mahmud Thoha (PEP-LIPI, The Indonesian Institute of Science), Evgenii B. Kovrigin and Robert Dekle (Boston University))

(6) 旭硝子財団 (国際共同) 研究助成

「ASEAN 進出企業の地域ロジスティック戦略と『国際公共性』：経済地域主義と企業内人的管理・R&D・物流・決済システムの国際開発に関する実証的研究」(代表), [インドネシア, シンガポール, タイの研究者 5 名を含む 6 名]

Japanese Firms' Logistic Strategies in the ASEAN Region and their Roles as "International Public Goods: Interactions between economic regionalism and systematic development of intra-firm human resources, R&B, physical distribution, and settlements"

Report:

Papers on Japanese Firms' Logistics [S. Tokunaga, Mohamed Ariff (University of Malaya), Playoon Shiwatolana (TT & T, Thailand). Thee Kian Wie and Mahmud Thoha (PEP-LIPI, The Indonesian Institute of Science) and V. Seshamani (Nanyan Polytechnic, Singapore)]

(7) 文部省国際学術研究 (1993-95) 「アジア経済ダイナミズムとアジア太平洋の新経済秩序：ポスト冷戦後の日米経済関係と新しい地域主義」(代表), [米国, カナダ, オーストラリア, シンガポール, マレーシア等海外共同研究者 9 名を含む16名]

Report:

Asian Economic Dynamism and New Asia-Pacific Economic Order: Post-cold war U. S. - Japan economic relations and new regionalism, Kyushu University, 1994, 332 pages

(8) 文部省国際学術研究 (1996-98)

「アジアの成長と政治経済システムの変革—成長と地域経済圏形成に及ぼす市場と国家の役割に関する実証的研究」(代表), [米国, カナダ, 英国, 中国等海外研究者 9 名を含む14名]
Changes of Political and Economic Systems in Asian Growth: Empirical study of interaction between markets and governments in economic growth and integration

(代表が病気のため1997年度, 98年度分は廃止)

2 海外招聘

- (1) USIS International Visitor Program (1984年6月-10月), 米国ペンシルバニア大学他
- (2) The Japan-United States Friendship Commission (1989年2月-4月), 米国スタンフォード大学及びワシントン州立大学

3 国内研究 (研究代表のみ。研究分担については省略)

- (1) 村田学術振興財団研究助成 (1991)
「国際物流革命とアジア貿易システムの構造変化に関する実証的研究—アジア太平洋自由貿易圏問題と関連して」
報告書: *Annual Report of the Murata Science Foundation, no.6, 1992*
- (2) 全国銀行学術振興財団助成 (1993-94)
「アジア域内金融・決済システムの変革に関する実証的研究」
報告書: 『多国籍企業のアジア投資と円の国際化』, 税務経理協会, 1996, 171ページ
- (3) 文部省科学研究費助成 (1994-95)
「アジア地域経済の形成とドル体制の浸食に関する実証的研究」
報告書: 『多国籍企業のアジア投資と円の国際化』, 税務経理協会, 1996, 171ページ
: *Formation of Asian Regional Economy and Erosion of Dollar System: An empirical study*
- (4) 文部省科学研究費助成 (1996-97)
「産業内国際分業の進展とアジア地域 R&D, 物流, 金融・決済システムの変容—企業ロジスティック戦略がアジア金融システム・円の国際化に及ぼす影響に関する実証的研究」

IV 国際会議 (講演, コメント, コーディネート等)

- (1) The 7th ASEAN Round Table,
Keynote Speech: "Economic Asianization and the Economies of Asia: The position of ASEAN and Kyushu in the new Asian trading system,"
Sponsorship: JETRO (Tokyo), February 8, 1990
- (2) International Conference on Culture and Development in Asia and the Pacific
Lecture: "The Economy and Regional Development in Southeast Asia," (*Report: International Conference on Culture and Development in Asia and the Pacific* (203 pages) pp. 61-72)

Sponsorship: United Nations University et al., March 5-7, 1990

- (3) 第20回日本・ニュージーランド経済人会議,
キーノート・スピーチ:「アジア太平洋経済圏における日本・ニュージーランドの今後の役割: アジア経済のダイナミズムをどうみるか」,
主催: 日本商工会議所, 1993年10月26-28日
- (4) 九州・タイ経済フォーラム
『九州とタイ国の経済交流拡大をめざして』
(報告書: *Extending Economic Exchange between Kyushu and Thailand: Reports*, 1994, 68 pages),
主催: 九州・タイ国際経済フォーラム実行委員会, 1994年3月2日
[パネルディスカッションにおけるコーディネーターとして]
- (5) APEC 投資セミナー in 九州
(報告書: *Extending Economic Exchange in the Asia-Pacific Region*)
主催: APEC, 通産省, JETRO 等, 1994年9月20日
[第2分科会コーディネーター]
- (6) *Academic Conference on Economic Cooperation and the Role of the Firm*
(Lecture: “Local Approach towards Sub-Regional Economic Growth and Cooperation”)
主催: 小樽商科大学, 1995年7月29日
- (7) *Economic Interdependence and Challenge to the Nation-State: Economic Cooperation in the yellow Sea Rim*,
Sponsorship: Korea Institute of International Economic Policy, and Pacific Forum CSIS (USA)
(as commentator), Souel, April 20, 1995

V その他 (翻訳, エッセイ, 書評, 講演記録, 調査等)

- (1) 集思編著・馬場克三監訳『増減記帳法』(中国財政出版社, 1966) [翻訳]『企業会計』1967年12月号, 1968年1月号, 2月号
- (2) 「曾熙著『資本主義の国際決済方式』(中国財政出版社, 1963)」[抄訳, 紹介]『西南学院大学商学論集』18-2, 1969年9月
- (3) 「貿易決済と貿易金融」, 「輸出入」『マルクス経済学の基礎知識』有斐閣, 1971年
- (4) 「佐美光彦『国際通貨体制』を読んで—国際金融市場論としてのポンド体制論の展開—」(書評論文), 『経済評論』1976年7月号
- (5) 「外国為替銀行」, 「貿易金融」『経済学辞典』(第2版) 岩波書店, 1979年
- (6) 「貴金属と外国為替」『解説資本論』第3巻, 263-274ページ, 有斐閣, 1979年
- (7) 「資本主義以前 (信用)」『解説資本論』第3巻, 274-281ページ, 有斐閣, 1979年
- (8) 「B. センメル著『社会帝国主義史—イギリスの経験』(みすず書房)」『日本読書新聞』, 1983年7月

- (9) 「本山美彦著『貨幣と世界システム』」(書評), 『社会経済史学』, 第52巻第5号
- (10) 「松村文武著『現代アメリカ国際収支の研究』」(書評) 『世界経済評論』 1985年11月号
- (11) 「服部彰著『現代国際金融論』」(書評) 『世界経済評論』 1986年11月号
- (12) 「有能な新聞切り抜き助手」 『NIKKEI TELECOM NEWS』 第4巻31号, 1988年
- (13) 「片岡伊『国際通貨と国際収支』」(書評) 『金融ジャーナル』 1986年9月号
- (14) 「円高問題とその行方」(第10回研究所総会記念講演) 『福岡の暮らしと自治』 第114号, 1987年6月15日号
- (15) 「M. E. クライニン『必要な相互調整と一目米と世界経済-』」(翻訳) TRENDS 1988年4月号
- (16) 「豊かな日本と貧しい日本」 『九大学報(海外レポート)』 1987年7月号
- (17) 「福岡市貿易振興計画」(第1章-第3章) 福岡市, 1990年
- (18) 「アジア経済圏の形成と福岡市の役割」 『鴻都』 第4巻, 1990年
- (19) 「成熟経済日本とアジアの工業化-技術革新と富分配のメカニズム-」 『九州大学研究紹介』 1991年3月号
- (20) 『九州経済の新しい構図と地域企業のアジア進出-九州地域企業のアジア進出実態調査』(報告書), 福岡商工会議所, 1993年5月
- (21) 「R. マッキノン『ゲームのルール』」(書評) 『エコノミスト』 1995年3月14日号
- (22) 「アジア化する九州経済-九州経済の新しい役割と課題」 『貿易ニュース』 1995年11月号
- (23) 「自由の中の貧困の壁-あるアメリカ印象記」 『学会会報』 811号, 1996年第二四半期号
- (24) 「APEC-米国, 日本, そしてアジア」 月刊 『日本の進路』 1996, no. 41
- (25) 『変わるアジアに成長の活路を求めて-九州の国際化・その新たな展望』(報告書), 福岡商工会議所, 1996年10月
- (26) 「資本の自由化と蛇頭」(Network) 『九州経済調査月報』 1997年6月号